

2 社会的事業に対する資金提供の実態調査 調査票

社会的事業に対する資金提供の実態調査



拝啓 時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

現在、我が国では、昨年12月に成立した「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」（休眠預金等活用法）に基づき、休眠預金等活用審議会において休眠預金等を民間公益活動の促進に活用していくための方策を検討しています。

本調査は、社会的事業に対し、資金提供を行う金融機関、助成財団、企業等の団体（可能性含む）を対象として、資金提供の規模や手法等の実態把握を目的に実施するものです。

本調査の結果は、今後の休眠預金等活用審議会において、制度設計のための議論の基礎資料として活用するほか、後日内閣府ホームページに掲載する予定です。

なお、調査結果は上記目的以外に利用することはありません。

皆様方からいただく御回答が、今後の施策検討にとって有用なものとなります。

御多忙のところ誠に恐縮に存じますが、本調査の趣旨に御理解をいただき、御協力くださいますようお願いとぞお願い申し上げます。

敬具

1. 貴団体において社会的事業への助成、貸付け、出資等について御担当または該当事業をよく御存知の担当部署が回答してください。（1頁参照）
2. 回答方法は、該当する番号に○印をつけていただくもの、内に該当する数字を御記入いただくもの、自由に御記入いただくものがあります。設問の指示に従って回答してください。
3. 「その他」を選んだ場合、()に具体的な内容を記入してください。
4. 記入が終わりましたら、返送用封筒（切手不要）に入れて12月22日（金）迄に投函ください。
5. 本調査は、株式会社インテージリサーチに委託しています。調査に関して御不明の点がございましたら、下記【お問い合わせ先】の担当者までお問い合わせください。
6. 御回答いただいた内容は、社会的事業に対する資金提供の実態把握を目的としてとりまとめることとし、個別の団体名が特定できる情報を無断で公表することはありません。（公表する場合は、事前に同意を取得するものとします。）

【お問い合わせ先】

〒203-0053 東京都東久留米市本町1-4-1

株式会社 インテージリサーチ

TEL：0120-222-867 FAX：042-476-1388 お問い合わせ時間：平日 9:30-12:00、13:00-17:30

E-mail：mkk-sf-support@intage.co.jp

【委託元】内閣府 休眠預金等活用担当室

本調査における考え方

- ✓ 本調査では、「ビジネスを通じて社会的課題を解決・改善すること」を『社会的事業』※と呼び、社会的事業を行う事業者に対する貴団体の資金提供（助成、貸付け、出資等）の有無や内容についてお伺いします。

※『社会的事業』の例示

- ニートや引きこもりなど若者に対し自立を支援する事業
- 貧困家庭の子どもや孤立した子どもに対し保育サービスを提供する事業
- 地域産業の衰退に歯止めをかけるための人材育成サービスを提供する事業
- 障がいや難病を抱えた方等に対する社会的孤立を防ぐための事業 等

- ✓ 貴団体が行う資金提供のうち、本調査において御回答いただく範囲については、上記の例をはじめとする『社会的事業』に対し直接資金提供を行っているものについて御記入ください。

また、該当性の判断については、下記の例を参考にしてください。

●該当すると考えられる例

- 社会的課題を解決する事業者向けに資金提供対象事業または資金用途を限定した助成制度、融資制度、ファンド（社会的事業への直接寄付は助成に含まず。）
- 社会的課題を解決することを意図している商品（社会的課題を解決する主体としてNPO法人やソーシャルビジネス事業者を対象とする専用融資）
- 社会的インパクト投資（「社会的インパクト」とは、事業や活動の結果として生じた、社会的・環境的な変化や効果のことをいい、「社会的インパクト投資」とは、社会・環境面での課題解決を図るとともに経済的な利益を追求する、株式投資、債券投資、融資、リース等による資金提供のことをいいます。）

●該当しないと考えられる例

- 海外向けに資金提供しているもの（開発途上国向け助成制度、ファンド）※
- 学費など生活面の支援を直接行っているもの（個人への奨学金）※
- 宗教活動、政治活動を主たる目的とする団体、暴力団の活動に関するもの

※本調査は、国内向けかつ社会的事業に対する資金提供に限定しているため、海外向け資金提供、奨学金給付は対象外としています。

（参考資料）

- 民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律
http://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=428AC1000000101
- 民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律説明資料（内閣府・金融庁 平成29年）
http://www5.cao.go.jp/kyumin_yokin/shingikai/sanko/shiryou_1_2.pdf

※本調査は、休眠預金等活用に係る「資金分配団体」の選定とは全く関係ありません。

<問 4、問 15、問 28 関連>

【参考 1】本調査でお伺いする「資金提供分野の分類」と「持続可能な開発目標（SDGs）」が示す目標に関連する活動との対応関係は、次表のとおりです。

資金提供分野の分類	SDGs が示す目標に関連する活動
1 医療・介護・保健衛生・福祉の充実	医療・介護・保健の充実、地域・障がい者・高齢者福祉、ホームレス、社会的弱者への支援
2 地域の活性化・まちづくり、安全・安心な生活の実現	農林水産業の育成、都市地方の交流促進、地域の観光振興、過疎対策など防災活動の推進、地域安全の向上
3 教育・保育の充実	子どもの健全育成、子育て支援、若者の就労支援、生涯学習の充実
4 環境の保全	再生可能エネルギー、省エネルギー、省資源、節水、気候変動への対応、海洋資源・森林管理
5 産業・商業の育成	中小企業・ベンチャー支援、雇用機会の拡充、科学技術の振興
6 人権・個人の尊重	人権擁護と尊重、女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランスの推進
7 文化・芸術・スポーツの振興	文化財保護、伝統産業の継承、スポーツ振興
8 社会的組織体への支援	社会的企業、NPO、ソーシャルビジネス等の社会的組織体への支援

<問 5、問 16、問 29 関連>

【参考 2】本調査でお伺いする資金提供対象ステージの分類および考え方は、次表のとおりです。

分類	考え方
1 準備期	・事業の準備段階（シード期）
2 創業期	・事業立ち上げから軌道に乗るまでの段階（スタートアップ期） ・事業展開を本格的に進める段階で、赤字で収益不安定の事業（アーリー期）
3 成長期	・事業の成長初期段階（グロース期・エクспанション期・ミドル期） ・売上が成長しつつあり、損益分岐点を超え、事業が黒字化した段階
4 成熟期	・事業の成長後期段階（レイター期） ・事業が軌道に乗り、収益が黒字で成長が安定した段階
5 特に想定していない	

本調査票の構成

本調査票は、

- I 基本情報
- II 社会的事業への資金提供の実施状況に関する質問（問 1）
- III-1 社会的事業への「助成」に関する質問（問 2～問 11）
- III-2 社会的事業への「貸付け」に関する質問（問 12～問 24）
- III-3 社会的事業への「出資」に関する質問（問 25～問 37）
- IV 社会的事業への資金提供に関する意見（問 38～問 41）

から構成されています。

※貴団体が行う資金提供（助成、貸付け、出資等）に応じ、御回答をお願いいたします。

※なお、回答できない設問については、空欄でも構いませんので、御協力をお願いいたします。

I. 貴団体についてお伺いします。

貴団体名	
御担当者	(所属)
	(役職)
	(氏名)
御連絡先	(電話番号)
	(メールアドレス) _____ @ _____
	(住所 ※表紙の記載と異なる場合のみ御記入ください) 〒 _____

※御記入いただきました個人情報(御担当者情報)は、御回答内容の確認および追加のインタビュー調査に関する内容でのみ利用し、それ以外の目的に利用することは一切ありません。

※複数部署に渡って御回答いただきました場合は、下記に関連部署名を御記入ください。

関連部署	(所属) _____ _____ _____
------	------------------------------

II. 貴団体の社会的事業に対する資金提供の実施状況をお伺いします。

問1 貴団体の社会的事業に対する助成、貸付け、出資等の実施状況をお伺いします。

以下の問1-①～問1-③までをお答えの上、「行っている」取組について、次頁以降を御回答ください。「実施を検討中」については簡単に概要をお答えください。また、「行っていない」場合は、調査はこの設問で終了となります。

問1-① 貴団体では、現在、社会的事業に対する『助成』を行っていますか。(○は1つ)

1 行っている	2 実施を検討中 ()
	3 行っていない

4～5頁(問2～問11)、10頁(問38～問41)をお答えください。

問1-② 貴団体では、現在、社会的事業に対する『貸付け』を行っていますか。(○は1つ)

1 行っている	2 実施を検討中 ()
	3 行っていない

6～7頁(問12～問24)、10頁(問38～問41)をお答えください。

問1-③ 貴団体では、現在、社会的事業に対する『出資等』を行っていますか。(○は1つ)

1 行っている	2 実施を検討中 ()
	3 行っていない

8～9頁(問25～問37)、10頁(問38～問41)をお答えください。

①～③いずれも「実施を検討中」「行っていない」とお答えの方は以上で調査終了です。

同封の返送用封筒(切手不要)に入れて12月22日(金)迄に投函ください。御協力ありがとうございました。

Ⅲ - 1. 貴団体の社会的事業に対する【助成】の実施状況をお伺いします。

【社会的事業への「助成」を行っている団体にお伺いします。】

問2 社会的事業に対する助成について、具体的な助成プログラム名と概要を簡単にお答えください。

(名称)
(概要)

※複数ある場合は、関連深いものから順に名称だけでも複数記載ください。

問3 貴団体の社会的事業に対する助成の対象地域はどこですか。(〇はいくつでも)

1 全国	5 近畿
2 北海道・東北	6 中国・四国
3 関東	7 九州・沖縄
4 北陸・中部	8 その他 ()

問4 貴団体の社会的事業に対する助成として対象としている分野はどれですか。(〇はいくつでも)

1 医療・介護・保健衛生・福祉の充実	6 人権・個人の尊重
2 地域の活性化・まちづくり、安全・安心な生活の実現	7 文化・芸術・スポーツの振興
3 教育・保育の充実	8 社会的組織体への支援
4 環境の保全	9 その他
5 産業・商業の育成	()

※分類については2頁を御参照ください。

問5 貴団体の社会的事業に対する助成の対象としている団体のステージはどれにあたりますか。想定と、実際(助成先)の団体のステージについてお答えください。(〇はそれぞれいくつでも)

問5-① 想定している団体のステージ	問5-② 実際(助成先)の団体のステージ
1 準備期	1 準備期
2 創業期	2 創業期
3 成長期	3 成長期
4 成熟期	4 成熟期
5 特に想定していない	5 特に想定していない

※対象ステージの考え方については2頁を御参照ください。

問6 貴団体の社会的事業に対する助成の対象となる団体はどのような団体ですか。(〇はいくつでも)

1 公益財団法人	5 社会福祉法人	9 非上場企業
2 公益社団法人	6 特定非営利活動法人	10 個人事業主
3 一般財団法人	7 任意団体	11 その他
4 一般社団法人	8 上場企業	()

問7 貴団体の社会的事業に対する助成1案件の①申請締切から助成決定までの平均的な期間、②助成決定から提供(支給)までの平均的な期間および③助成期間をお答えください。(〇はそれぞれいくつでも)

問7-① 申請締切から決定	問7-② 決定から提供	問7-③ 助成期間
1 1か月以内	1 1か月以内	1 6か月以内
2 3か月以内	2 3か月以内	2 1年間
3 6か月以内	3 6か月以内	3 2年間
4 1年以内	4 1年以内	4 3年間
5 1年超	5 1年超	5 3年超
6 その他()	6 その他()	6 その他()
7 答えられない	7 答えられない	7 答えられない

問8-① 社会的事業への助成の年間予算枠はありますか。(〇は1つ)

1 ある	2 ない
------	------

問8-② 貴団体の社会的事業に対する助成の単年度の予算および実績(フロー)として、過去3か年度の該当するものの金額と件数(それぞれ合計)をお答えください。(単位:万円、件数)

	単年度予算 (予算枠がある場合)	単年度実績(フロー) (予算枠の有無に関わらずお答えください)
平成26年度(2014年度)	万円	万円 件
平成27年度(2015年度)	万円	万円 件
平成28年度(2016年度)	万円	万円 件

※個人への奨学金の給付、海外における活動全般は除外してください。(1頁参照)

問9 貴団体の社会的事業に対する助成の規模として、平成28年度(2016年度)末時点のこれまでの累積金額および助成開始年度をお答えください。(単位:万円、年度)

平成28年度末時点 累積	万円	開始年	年度
--------------	----	-----	----

※直近決算期の値でも構いません。

問10 貴団体の社会的事業に対する助成の単年度実績(フロー)として、本年度の金額と件数のそれぞれの見込み(合計)をお答えください。(単位:万円、件数)

平成29年度(2017年度)	万円	件
----------------	----	---

問11 貴団体の社会的事業に対する今後の助成の金額および件数の見込みや方向性をお答えください。(〇はそれぞれ1つつ) ※平成29年度(2017年度)と比べてお答えください。

	非常に増加 150%以上	増加 120~150%	やや増加 105~120%	変化なし 95~105%	やや減少 80~95%	減少 50~80%	非常に減少 50%以下
平成30年度(2018年度)	1	2	3	4	5	6	7
平成31年度(2019年度)	1	2	3	4	5	6	7
平成32年度(2020年度)	1	2	3	4	5	6	7

⇒社会的企業への貸付けを行っている団体は 問12へ

⇒社会的企業への出資等を行っている団体は 問25へ

⇒その他の方は 問38へ

Ⅲ-2. 貴団体の社会的事業に対する【貸付け】の実施状況をお伺いします。

【社会的事業への貸付けを行っている団体にお伺いします。】

問 12 社会的事業に対する貸付けについて、ローン名称等の具体的な商品名と概要を簡単にお答えください。

(名称)

(概要)

※複数ある場合は、関連深いものから順に名称だけでも複数記載ください。

問 13 貴団体の社会的事業に対する貸付けの手法はどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------|-----------|
| 1 コーポレート融資 | 3 非営利法人融資 |
| 2 プロジェクト融資 | 4 その他 () |

問 14 貴団体の社会的事業に対する貸付けの対象地域はどこですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 全国 | 5 近畿 |
| 2 北海道・東北 | 6 中国・四国 |
| 3 関東 | 7 九州・沖縄 |
| 4 北陸・中部 | 8 その他 () |

問 15 貴団体の社会的事業に対する貸付けとして対象としている分野はどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1 医療・介護・保健衛生・福祉の充実 | 6 人権・個人の尊重 |
| 2 地域の活性化・まちづくり、安全・安心な生活の実現 | 7 文化・芸術・スポーツの振興 |
| 3 教育・保育の充実 | 8 社会的組織体への支援 |
| 4 環境の保全 | 9 その他 () |
| 5 産業・商業の育成 | |

※分類については2頁を御参照ください。

問 16 貴団体の社会的事業に対する貸付けの対象としている団体のステージはどれにあたりますか。想定と、実際(貸付け先)の団体のステージについてお答えください。(〇はそれぞれいくつでも)

問 16-① 想定している団体のステージ	問 16-② 実際(貸付け先)の団体のステージ
1 準備期	1 準備期
2 創業期	2 創業期
3 成長期	3 成長期
4 成熟期	4 成熟期
5 特に想定していない	5 特に想定していない

※対象ステージの考え方については2頁を御参照ください。

問 17 貴団体の社会的事業に対する貸付けの対象となる団体はどのような団体ですか。

(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------|-------------|----------|
| 1 公益財団法人 | 5 社会福祉法人 | 9 非上場企業 |
| 2 公益社団法人 | 6 特定非営利活動法人 | 10 個人事業主 |
| 3 一般財団法人 | 7 任意団体 | 11 その他 |
| 4 一般社団法人 | 8 上場企業 | () |

問 18 貴団体の社会的事業に対する貸付け1案件の①申込から貸付決定までの平均的な期間、②貸付決定から提供（支給）までの平均的な期間をお答えください。（〇はそれぞれいくつでも）

問 18-① 申込から貸付決定			問 18-② 貸付決定から提供		
1	1か月以内	5 1年超	1	1か月以内	5 1年超
2	3か月以内	6 その他	2	3か月以内	6 その他
3	6か月以内	()	3	6か月以内	()
4	1年以内	7 答えられない	4	1年以内	7 答えられない

問 19 貴団体の社会的事業に対する貸付けとして、該当するものの金利と貸付期間をお答えください。

金利	最低	(%)	最高	(%)
貸付期間	最短	年	最長	年

問 20 貴団体の社会的事業に対する貸付けの単年度実績（フロー）として、過去3か年度の該当するものの金額と件数（それぞれ合計）をお答えください。（単位：万円、件数）

	単年度実績（フロー）	
平成 26 年度 (2014 年度)	万円	件
平成 27 年度 (2015 年度)	万円	件
平成 28 年度 (2016 年度)	万円	件

※個人への奨学金の給付、海外における活動全般は除外してください。（1頁参照）

問 21 貴団体の社会的事業に対する貸付けの規模（残高・ストック）として、平成 28 年度（2016 年度）末時点の金額と件数（それぞれ合計）をお答えください。（単位：万円、件数）

平成 28 年度 (2016 年度) 末時点	万円	件
------------------------	----	---

※直近決算期の値でも構いません。

問 22 貴団体の社会的事業に対する貸付けの単年度実績（フロー）として、本年度の金額と件数のそれぞれの見込み（合計）をお答えください。（単位：万円、件数）

平成 29 年度 (2017 年度)	万円	件
--------------------	----	---

問 23 貴団体の社会的事業に対する今後の貸付けの金額および件数の見込みや方向性をお答えください。（〇はそれぞれ1つずつ）※平成 29 年度（2017 年度）と比べてお答えください。

	非常に増加 150%以上	増加 120～150%	やや増加 105～120%	変化なし 95～105%	やや減少 80～95%	減少 50～80%	非常に減少 50%以下
平成 30 年度 (2018 年度)	1	2	3	4	5	6	7
平成 31 年度 (2019 年度)	1	2	3	4	5	6	7
平成 32 年度 (2020 年度)	1	2	3	4	5	6	7

【貴団体の ESG 投資（貸付け）についてお伺いします。】

問 24 貴団体の ESG 投資（貸付け）の実績として、平成 28 年度（2016 年度）の単年度実績（フロー）と規模（残高・ストック）をお答えください。（単位：万円）

	単年度実績（フロー）	規模（残高・ストック）
平成 28 年度 (2016 年度)	万円	万円

⇒社会的企業への出資等を行っている団体は問 25 へ

⇒その他の方は 問 38 へ

Ⅲ-3. 貴団体の社会的事業に対する【出資等】の実施状況をお伺いします。

【社会的事業への出資等を行っている団体にお伺いします。】

問 25 社会的事業に対する出資等について、ファンド名称等の具体的な商品名と概要を簡単にお答えください。

(名称)
(概要)

※複数ある場合は、関連深いものから順に名称だけでも複数記載ください。

問 26 貴団体の社会的事業に対する出資等の手法はどれですか。(〇はいくつでも)

1 上場株式投資	3 グリーンボンド/ソーシャルボンドの購入
2 非上場株式投資	4 グリーンボンド/ソーシャルボンド以外の社債購入
	5 非営利法人債券購入
	6 その他 ()

問 27 貴団体の社会的事業に対する出資等の対象地域はどこですか。(〇はいくつでも)

1 全国	5 近畿
2 北海道・東北	6 中国・四国
3 関東	7 九州・沖縄
4 北陸・中部	8 その他 ()

問 28 貴団体の社会的事業に対する出資等として対象としている分野はどれですか。(〇はいくつでも)

1 医療・介護・保健衛生・福祉の充実	6 人権・個人の尊重
2 地域の活性化・まちづくり、安全・安心な生活の実現	7 文化・芸術・スポーツの振興
3 教育・保育の充実	8 社会的組織体への支援
4 環境の保全	9 その他
5 産業・商業の育成	()

※分類については2頁をご参照ください。

問 29 貴団体の社会的事業に対する出資等の対象としている団体のステージはどれにあたりますか。想定と、実際(出資先)の団体のステージについてお答えください。(〇はそれぞれいくつでも)

問 29-① 想定している団体のステージ	問 29-② 実際(出資先)の団体のステージ
1 準備期	1 準備期
2 創業期	2 創業期
3 成長期	3 成長期
4 成熟期	4 成熟期
5 特に想定していない	5 特に想定していない

※対象ステージの考え方については2頁をご参照ください。

問 30 貴団体の社会的事業に対する出資等の対象となる団体はどのような団体ですか。

(〇はいくつでも)

1 公益財団法人	5 社会福祉法人	9 非上場企業
2 公益社団法人	6 特定非営利活動法人	10 個人事業主
3 一般財団法人	7 任意団体	11 その他
4 一般社団法人	8 上場企業	()

問 31 貴団体の社会的事業に対する出資等1案件のデューデリジェンス(事業精査)から実施(出資等)までの平均的な期間をお答えください。(〇は1つ)

1	1か月以内	3	6か月以内	5	1年超	7	答えられない
2	3か月以内	4	1年以内	6	その他()		

問 32 貴団体の社会的事業に対する出資等として、該当するものの期待リターンをお答えください。また、投資期間もお答えください。

期待リターン	最低	(%)	最高	(%)
投資期間	最短	年	最長	年

問 33-① 社会的事業への出資等の年間予算枠はありますか。(〇は1つ)

1	ある	2	ない
---	----	---	----

問 33-② 貴団体の社会的事業に対する出資等の単年度の予算および実績(フロー)として、過去3か年度の該当するものの金額と件数(それぞれ合計)をお答えください。(単位:万円、件数)

	単年度予算	単年度実績(フロー)	
	(予算枠がある場合)	(予算枠の有無に関わらずお答えください)	
平成26年度(2014年度)	万円	万円	件
平成27年度(2015年度)	万円	万円	件
平成28年度(2016年度)	万円	万円	件

※個人への奨学金の給付、海外における活動全般は除外してください。(1頁参照)

問 34 貴団体の社会的事業に対する出資等の規模(残高・ストック)として、平成28年度(2016年度)末時点の金額と件数(それぞれ合計)をお答えください。(単位:万円、件数)

平成28年度(2016年度)末時点	万円	件
-------------------	----	---

※直近決算期の値でも構いません。

問 35 貴団体の社会的事業に対する出資等の単年度実績(フロー)として、本年度の金額と件数のそれぞれの見込み(合計)をお答えください。(単位:万円、件数)

平成29年度(2017年度)	万円	件
----------------	----	---

問 36 貴団体の社会的事業に対する今後の出資等の金額および件数の見込みや方向性をお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)※平成29年度(2017年度)と比べてお答えください。

	非常に増加 150%以上	増加 120~150%	やや増加 105~120%	変化なし 95~105%	やや減少 80~95%	減少 50~80%	非常に減少 50%以下
平成30年度(2018年度)	1	2	3	4	5	6	7
平成31年度(2019年度)	1	2	3	4	5	6	7
平成32年度(2020年度)	1	2	3	4	5	6	7

【貴団体のESG投資(出資等)についてお伺いします。】

問 37 貴団体のESG投資(出資等)の実績として、平成28年度(2016年度)の単年度実績(フロー)と規模(残高・ストック)をお答えください。(単位:万円)

	単年度実績(フロー)	規模(残高・ストック)
平成28年度(2016年度)	万円	万円

IV. 貴団体の社会的事業への資金提供に関する御意見等をお伺いします。

【問1①～③で「助成」「貸付け」「出資等」を「行っている」と回答の団体の方にお伺いします。】

問38 社会的事業への資金提供に関して資金提供の面で工夫していることはありますか。(〇はいくつでも)

<p><審査上の工夫></p> <p>1 審査時に社会性の評価を実施</p> <p>2 社会的成果の評価(社会的インパクト評価)を実施</p> <p>3 コンテスト形式により提供先、提供額を決定</p> <p><他の財源との連携></p> <p>4 協調融資を積極的に実施</p> <p>5 他の財源とのマッチングを条件に提供</p>	<p><提供手法の工夫></p> <p>6 複数年度にわたり資金を提供</p> <p>7 実績や成果に連動して提供額を分割</p> <p>8 金利低減、期間延長等の優遇措置</p> <p>9 劣後部分を引受け</p> <p><その他></p> <p>10 IPO(上場)ではなく事業継続を重視した出口戦略</p> <p>11 その他()</p> <p>12 特にない</p>
---	--

問39 社会的事業への資金提供に関して資金提供以外に実施していること(非金銭的支援)はありますか。(〇はいくつでも)

<p><一般業務支援></p> <p>1 事業戦略支援</p> <p>2 システム支援</p> <p>3 法律相談</p> <p>4 その他の一般業務支援</p> <p><組織体制に関する支援></p> <p>5 人材採用支援</p> <p>6 人材派遣</p> <p>7 理事会・取締役会等の体制づくり支援</p> <p>8 ガバナンス体制強化</p> <p>9 その他の組織体制に関する支援</p>	<p><財務面に関する支援></p> <p>10 資金調達支援</p> <p>11 事業計画策定</p> <p>12 財務管理支援</p> <p>13 その他財務面に関する支援</p> <p><社会的インパクトに関する支援></p> <p>14 インパクト戦略策定支援</p> <p>15 インパクト評価の枠組・指標の開発支援等</p> <p><その他支援></p> <p>16 その他()</p> <p>17 特にない</p>
---	---

問40 社会的事業への資金提供に関して期待すること、課題に感じていることはありますか。ございましたら御自由に御記入ください。

期待すること	(例) 人材育成支援の充実、優良事例の創出による社会的事業の認知度向上 等
課題に感じる点	(例) 社会的事業の採算性の不足、社会的事業の信用力の欠如 等

問41 今後、御了解いただきました団体様を対象に今回のアンケートに関連した詳しい御意見をいただきたいと考えております。インタビュー調査に御協力いただけますでしょうか。(〇は1つ)

<p>1 協力できる</p> <p>2 日程があれば協力できる</p> <p>3 協力できない</p>	<p>⇒3頁の連絡先に必ず御記入をお願いいたします。</p> <p>(※)「協力できる」と御回答いただいた団体様すべてにお伺いするわけではありません。</p>
---	---

※インタビュー調査に御協力いただく際には、事前に連絡いたします。

なお、商品やサービスに関する資料、資金提供の特徴事例等ございましたら、調査票と合わせて、メールまたは郵送にてお送りいただければ幸いです。

～アンケートは以上です。御協力いただきありがとうございました。～
同封の返送用封筒(切手不要)に入れて12月22日(金)迄に投函ください。